

課題になっている行動 (気になる行動)

通学の電車で自分の席を決めて「座ってはダメ」と注意する

い
「おばあちゃん
ダメだよ
そこは僕の席」

いつも同じは得意
いつもと違うは苦手



監修・文 水野敦之 絵：宗貞由貴子

環境・状況の要因	本人の特性	本人の経験や気づきの影響
<p>■ 様々な状況の変化 いつも座っている席に人が座っている</p> <p><input type="checkbox"/> 影響を与える刺激や情報</p> <p>■ 必要な支援がない 本人にあわせた「座れないことのある」などの予告や、状況に応じた対応の仕方を指示されていない。</p> <p><input type="checkbox"/> その他</p> <hr/> <p>■ 行動前の状況※ どこに座っていいかわからない どのように座る場所を決めた方がいいかわからない</p>	<p>■ 空間の整理統合の困難さ：状況に応じて自分の場所を調整することが難しい</p> <p>■ 変化の対応の特性：いつも同じように、自分の場所を保持しようとする</p> <p>■ 受容コミュニケーションの特性：指示の理解の困難さ</p> <p>■ 社会性・対人関係の特性：周囲のイメージを想像することが難しい。</p>	<p>■ 習慣になっているものがある いつも同じ場所に座って習慣になっている</p> <p>■ 自分流の気づき・考え方をもち自分の場所を決めている</p> <p>■ 過去に経験したこと学んだこと 同じ席に座れば安全、変化が少ない。</p> <p><input type="checkbox"/> 過去に経験したことにより恐怖や嫌悪感をもっていること</p> <hr/> <p>■ 行動後の状況・結果※ いつも同じですること座れた</p>

活用できる他の資源	活用できる本人のスキル	活用できる本人の気づき
1対1で教える場面がある 移動支援を利用できる	文章や図、表などを理解することができる 空間の平面図を理解できる	

支援計画 ※支援の具体的な計画は自立課題シートで整理する方法もあります		
<p>環境を変える部分は？</p> <p>・必要に応じて、まずはVTRや写真などの教材で実施する。</p>	<p>本人の特性にあわせた支援は？</p> <p>・状況によって「どこに座るのか・座れないこと」を図やフローチャート又は表などで伝える。</p> <p>・上記をまとめた、確認表を持ち運びサイズで用意する。</p>	<p>本人に伝える・教える部分は？</p> <p>・必要に応じて1対1の勉強の場面で例題で教える。</p> <p>・登下校、移動支援などで、いくつかの事例を踏まえて、確認表を見ながら進める。</p> <p>・支援をフェードアウトする</p>

解説と支援の方向性について

人や物、予定などの変化の対応が苦手です。物の置き場所、習慣になっていることの保持しようとする様子が見られます。しかし、いつも同じことは得意、繰り返しは得意ということでもあります。習慣で教える工夫と、変化を見える形で伝えることが大切です。変更では、視覚的に事前に予告したり、変更をしつたりします。